

サツドラグループ Well-being 白書

2025年版(2024年度報告)

サツドラグループ健康経営宣言
「健康で明るい社会の実現に貢献する」

この経営理念の実現のため、
積極的に健康経営に取り組むことを宣言いたします。

| サツドラグループ健康経営宣言



ドラッグストアという個人だけではなく地域の健康課題の解決を目指す企業として、従業員の一人ひとりが健康でいきいきと働くことができる環境が必要不可欠と考えます。

そして、健康で笑顔あふれる従業員がお客様にサービスを提供することで、さらなる事業の発展につながるものと考えています。

そのためにサツドラホールディングスはグループ会社を含めた全社で健康の維持・増進を重要な経営課題と位置づけ、様々な取り組みを行っていきます。

代表取締役社長 CEO 富山 浩樹

サツドラグループ健康経営宣言

「健康で明るい社会の実現に貢献する」

この経営理念の実現のため、積極的に健康経営に取り組むことを宣言します。

- 一、サツドラは社員と、その社員を支えてくれる家族の幸せと健康を支援します。
- 一、サツドラは健康で明るくいいきいきと安心して働き続けられる環境を整えます。

行動指針10か条

第1条 定期健康診断は毎年3月31日までに受診します。

第2条 健康診断で精密検査、再検査になったら自分の健康のために受診して、自分の健康状態を最適に保ちます。保健指導、特定保健指導は対象になったら受けます。

第3条 日常生活リズムを整え、バランスの良い食事を心がけて運動を取り入れ、適正体重（BMI18.5～25）を保ちます。

第4条 自分と家族の生活習慣病予防のために禁煙を推進します。

第5条 ストレスチェックを受検し、自分のメンタルヘルスの状態を知りましょう。ストレスチェックで高ストレス者と判定されたら、迷わず相談しましょう。

第6条 感染症予防のための取り組みを積極的に行います。

第7条 ワークライフバランスの推進のため長時間労働を削減し、効率的に業務を進めます。そのための業務改善を積極的に進めましょう。

第8条 自分の健康は自分で守るために、体調の変化を感じたら産業保健スタッフ（保健師・産業医等）に相談をしたり、医療機関を受診します。

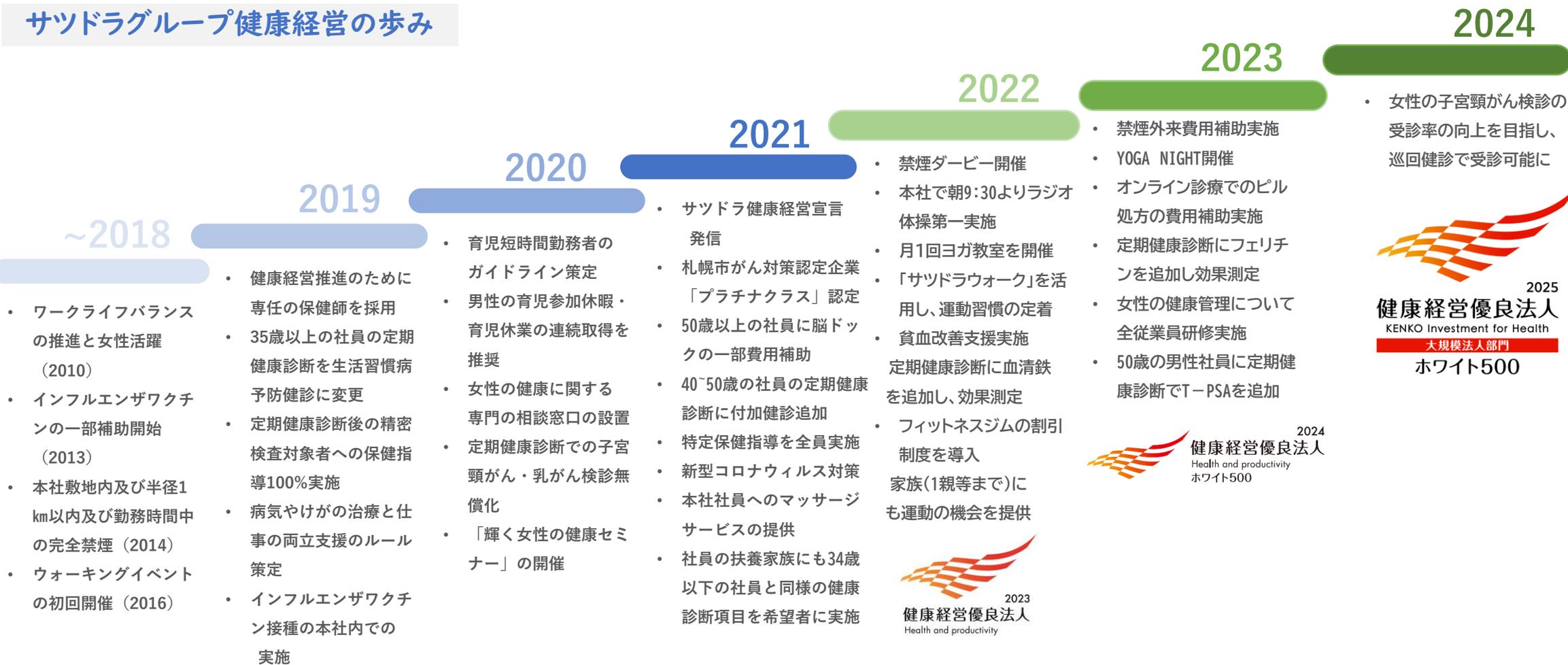
第9条 健康に関する情報をセミナーや研修を受講して、積極的に日常生活に取り入れましょう。また、一緒に働くスタッフの健康状態にも配慮できるように知識を身につけましょう。

第10条 一緒に働くスタッフが気持ちよく働ける環境を作りましょう。5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を推進し、ハラスメント等職場環境を悪化させる行為は禁止です。

健康経営これまでの取り組み

「健康で明るい社会の実現に貢献する」というミッションを実現する為には、従業員が健康でいきいきと安心して働ける環境であることが大前提と考え、グループ全体で健康経営を推進。

サツドラグループ健康経営の歩み



健康経営の推進

健康経営優良法人2025(ホワイト500)認定

「健康で明るい社会の実現に貢献する」の経営理念の実現のため、2019年より積極的に健康経営に取り組んできたことが認められ、2年連続で健康経営優良法人2025(ホワイト500)に認定。

健康経営の推進

健康経営宣言

「健康で明るい社会の実現に貢献する」
この経営理念の実現のため、積極的に健康経営に取り組むことを宣言します。

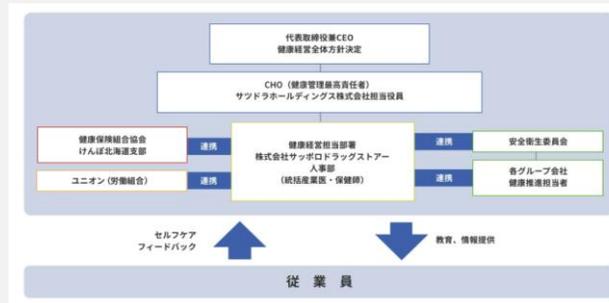
- 一、サツドラは社員と、その社員を支えてくれる家族の幸せと健康を支援します。
- 二、サツドラは健康で明るくいきいきと安心して働き続けられる環境を整えます。

サツドラグループは「健康で明るい社会の実現に貢献する」という経営理念のもと、様々な事業を展開しています。そのためには、社員が健康でいきいきと安心して働ける環境であることが大前提であると考えます。サツドラが求める健康とは、ただ「病気ではない」ということではなく、自分の健康課題や仕事についても前向きにとらえていけることです。また、社員を支えてくれる家族が幸せで健康であることも社員が安心して働き続けられるために必要だと考えます。社員が地域のお客様に対して窮を脱してウェルネスサービスを提供できるよう、積極的に健康経営を推進しています。

健康経営宣言を策定し、健康管理システムを利用した健康情報管理の提供や、社内ウォーキングイベントの開催、喫煙率低下に向けた取り組み等を実施。

健康経営宣言の策定

健康経営推進体制



役員が健康経営管理最高責任者(CH0)としてコミットメントし、グループ各社に健康推進担当を設置、協会けんぽとの連携等グループを横断した体制。

グループを横断した推進体制

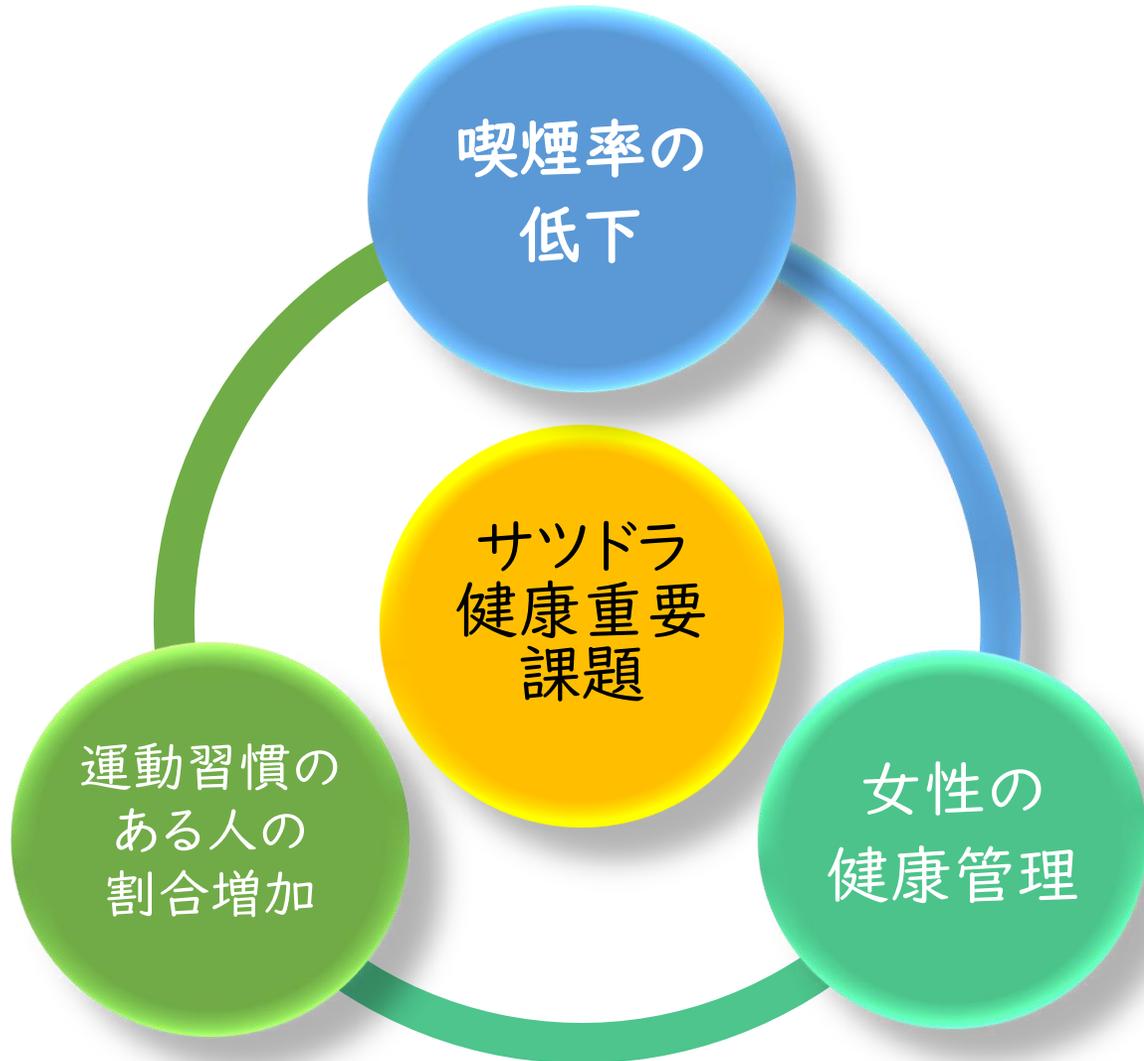
健康経営優良法人2025認定



サツドラグループ3社が経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2025(ホワイト500)」に認定。

2026年も認定取得を目指す

サツドラ健康重要課題

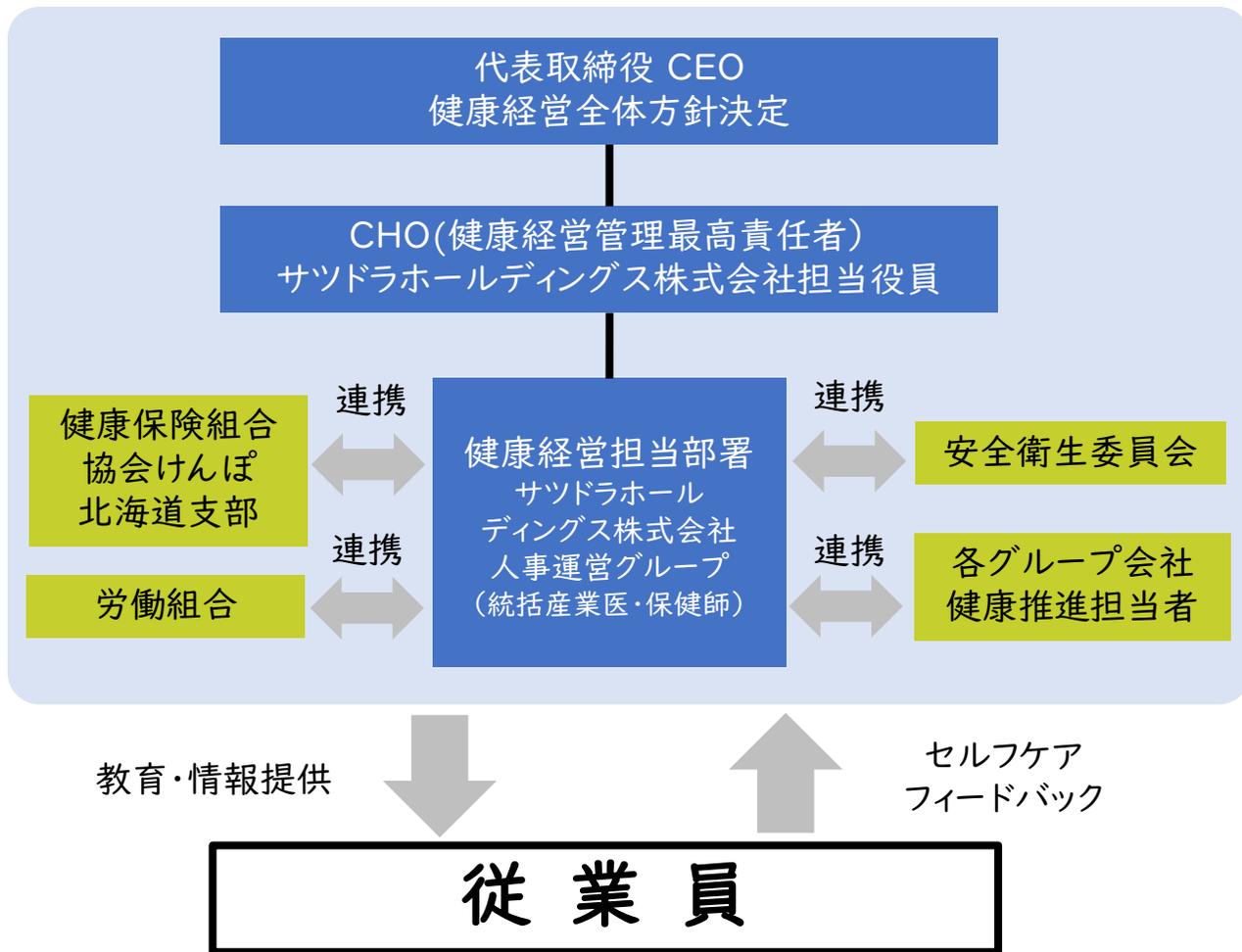


最重要取組項目	2024年実績	2025年目標
喫煙率	16.5%	15.0%

喫煙している人は禁煙を。
PMSや婦人科系の不調、貧血なら体調管理を。
BMI25以上なら運動を。



健康経営推進体制



サツドラホールディングス株式会社担当役員が健康経営管理最高責任者（CH O）としてコミットメントし、統括産業医、保健師、人事運営グループ、労働組合を構成メンバーとしてグループを横断した推進体制をとっています。
また、協会けんぽ北海道支部とも連携し、経営戦略の観点からグループ各社の社員の健康推進・増進のための施策を検討・実施しています。
グループ各社に健康推進担当者を置き、主体的に健康経営の推進に取り組んでいます。

	役 割
従業員	会社から提供される情報のみならず、自身のヘルスリテラシー向上、ウエルビーイングに向けてセルフケアを実施。
統括産業医	健康診断の就業判定、休職復職における就業判定を実施。健康経営推進のためのアドバイザー。
保健師	健康診断、労災、休職復職対応、ハラスメントや女性の健康問題など各種相談窓口の担当。労務管理上の問題を抱えた従業員の相談対応を実施。健康経営推進のための各種施策の企画・計画・実施を担当。
人事運営グループ	健康経営推進のための担当部署
安全衛生委員会	労働安全衛生法上の施策について審議。健康経営推進のための施策についても協議。
労働組合	従業員の立場に立った施策について助言
健康推進担当者	各グループ会社に健康経営施策について周知・実行。安全衛生委員会のメンバーでもある。
協会けんぽ北海道支部	健康増進施策について情報共有し、助言・指導。特定保健指導の委託、実施について助言。

データで見るサツドラ健康経営

	全社員健診 受診率	社保加入者 健診受診率	要精密検査者 保健指導 実施率	特定保健指導 初回面談 実施率	精密検査 受診率	適正体重 維持者率	血圧 リスク者率	血糖リスクと 考えられる人 の割合	糖尿病管理 不良者率
2024年度	94.8%	100.0%	100.0%	100.0%	62.8%	63.10%	0.73%	0.36%	0.48%
2023年度	96.4%	100.0%	100.0%	99.4%	80.1%	63.35%	0.30%	0.30%	0.60%
2022年度	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	74.1%	63.70%	0.75%	0.25%	0.44%
2021年度	97.3%	100.0%	100.0%	100.0%	78.5%	64.78%	0.61%	0.41%	0.55%
2020年度	97.1%	100.0%	100.0%	—	78.8%	65.42%	0.82%	0.08%	0.41%
2019年度	97.4%	100.0%	100.0%	—	35.1%	65.50%	1.31%	0.33%	0.41%
2018年度	89.9%	91.4%	—	—	—	—	—	—	—
2017年度	88.3%	91.4%	—	—	—	—	—	—	—

健康診断からみた
サツドラ
(2025年7月時点)

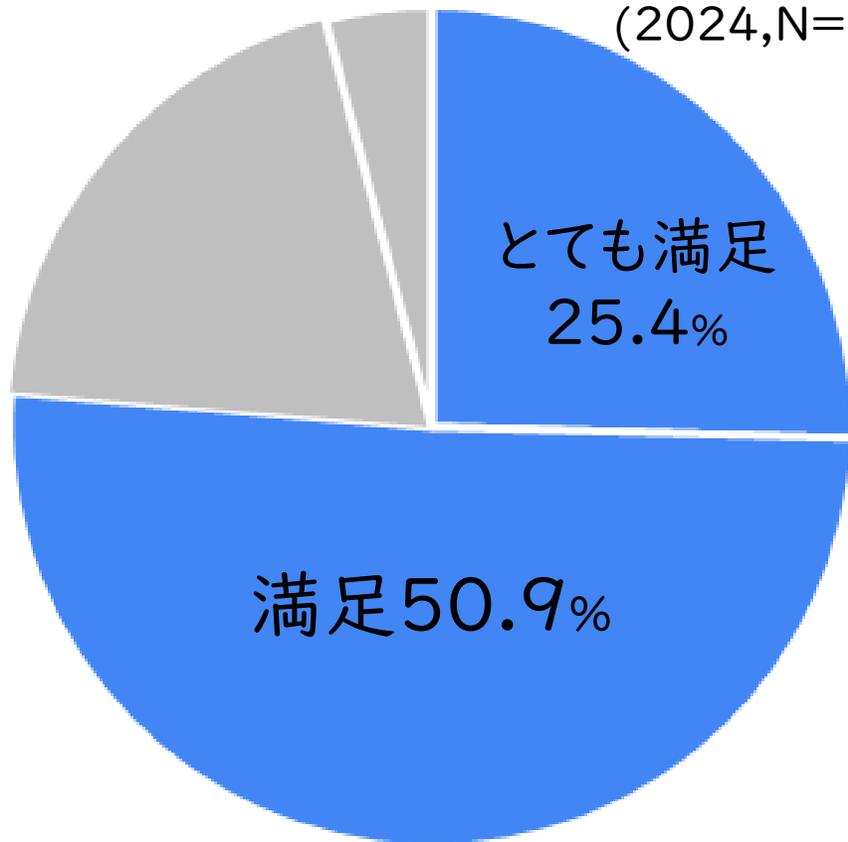
精密検査者の保健指導は保健師が配置された2019年から開始し**毎年100%実施**。

特定保健指導は協会けんぽ北海道支部の委託を受けて2021年度から開始し、**社内の対象者の初回面談実施率は100%**となっています。健康診断後の精密検査受診率は2024年度は**62.8%**と前年に比べて低くなっています。原因としては健診時期の変更と、それに伴い保健指導の時期が店舗の繁忙期と重なり、タイムリーに保健指導ができなかったことがあげられます。精密検査の受診勧奨は継続しており、今後受診率は上がる見込みです。

健康経営に対する従業員満足度

健康経営の満足度

(2024, N=3280)



従業員満足度

70% ▶ 76.3%

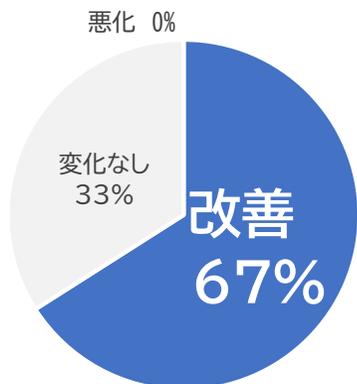
2022年

2024年

健康経営を開始して6年。各施策に対する従業員の認知度が上がり、満足度はますます高まっています。

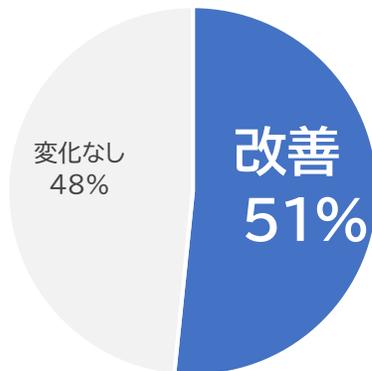
データで見るサツドラ健康経営 特定保健指導

食事



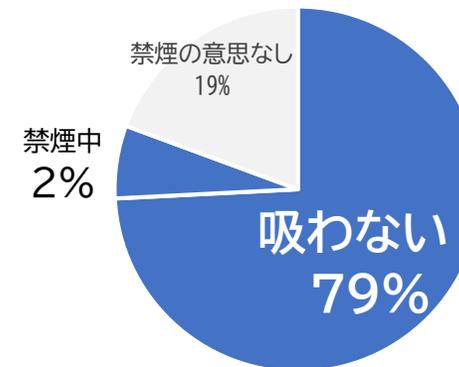
食事改善
67%

運動



運動改善
51%

喫煙



喫煙率
19%

特定保健指導からみた
サツドラ
(2024年4月～
2025年6月実施分)

2024年度に実施した定期健診に基づく対象者178名のうち、休職者を除く全員の初回面談が終了し、**実施率100%**達成。
特定保健指導修了者は113名。残り65名は継続支援中。
積極的支援が34%(60名)、動機付け支援が66%(118名)でした。

■平均体重減少値(本人計測値)

全体で-1.2kg、**積極的支援で-1.0kg、動機づけ支援で-1.3kg**

■平均腹囲減少値(本人報告値)

全体で-1.9cm、**積極的支援で-1.3cm、動機づけ支援で-2.2cm**

特定保健指導を通して食習慣と運動習慣を改善できた対象者が半数以上を占め、生活習慣病予防のための自主的な取り組みを促すことができました。

データで見るサツドラ健康経営 | ストレスチェック

ストレスチェック受検率

2024年 N=3,375



パートナー・アルバイト含む
全従業員が受検可能

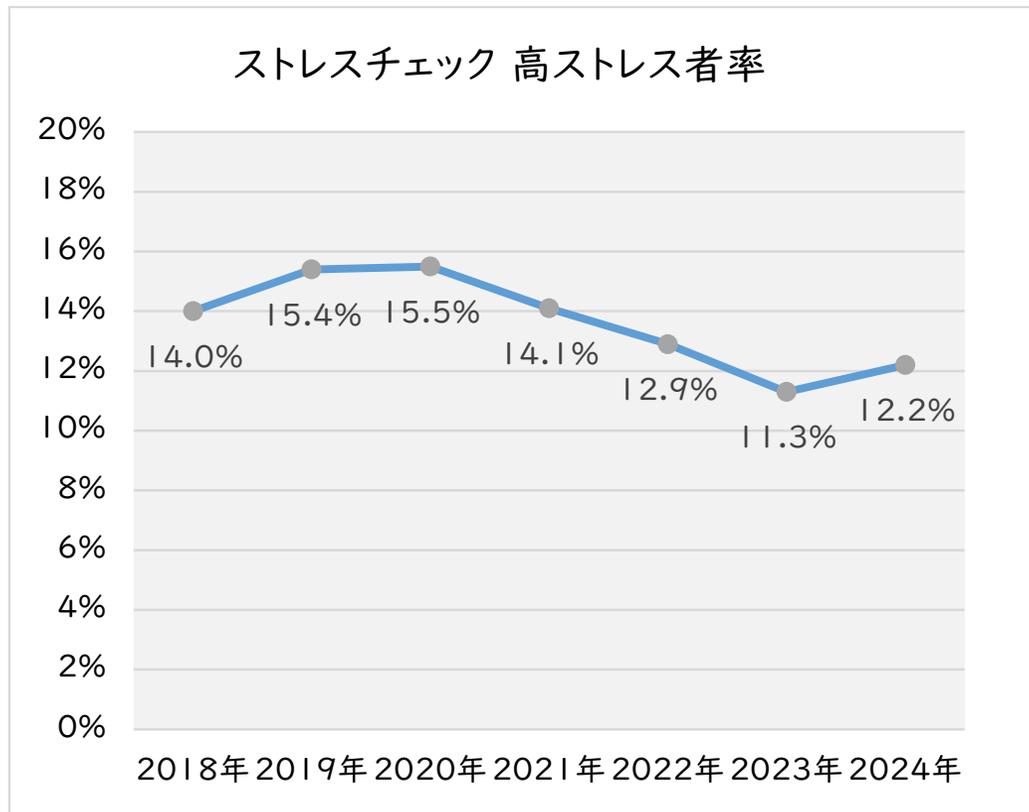
全社受検率

81.6%

毎年ストレスチェックを利用してセルフケアのきっかけとしています。結果の見方やお悩みは保健師にいつでも相談できます。

他にも心と体、ハラスメント、女性の健康、障がいなどどんなことでも保健師が関係部署と連携して対応しています。

データで見るサツドラ健康経営 | ストレスチェック



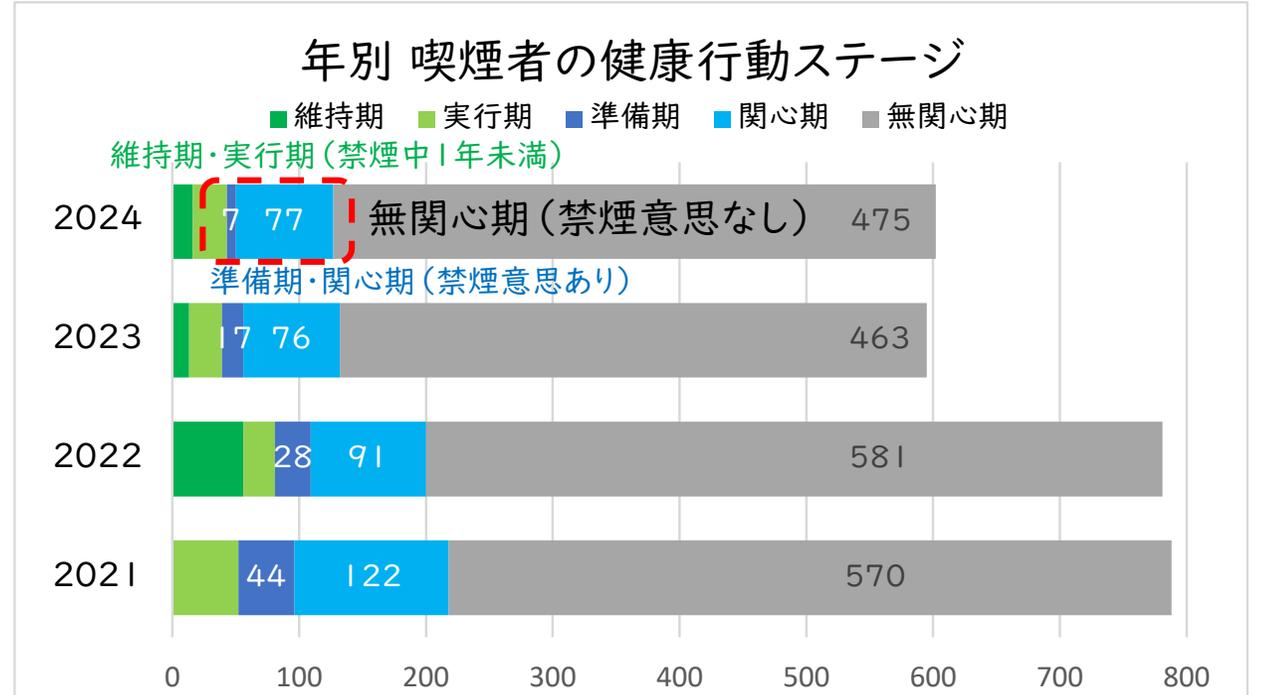
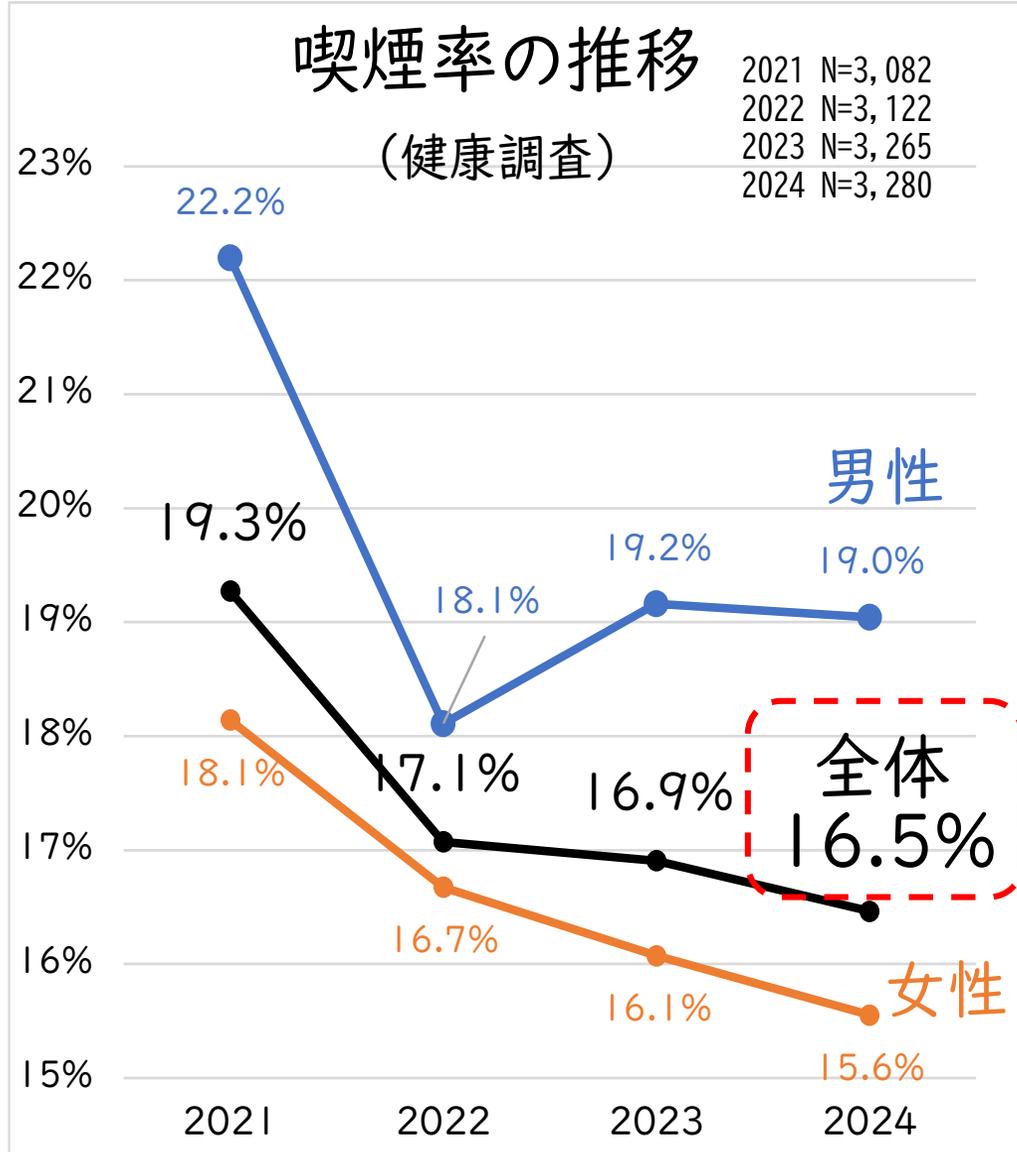
パート・アルバイト含む
全従業員のうち

高ストレス者 | 2.2%

日ごろから保健師や相談窓口を中心に、さまざまなお悩みの対応をしています。

また**集団分析結果から「上司のサポートがある」と自覚できている部署は高ストレス者が少ないこと**がわかっています。店長・薬局長をはじめとする、もっとも身近な上司たちが安心して対応できるよう、情報提供やサポートにも力を入れています。

喫煙率と禁煙行動ステージ



最重要取組項目
喫煙率低下

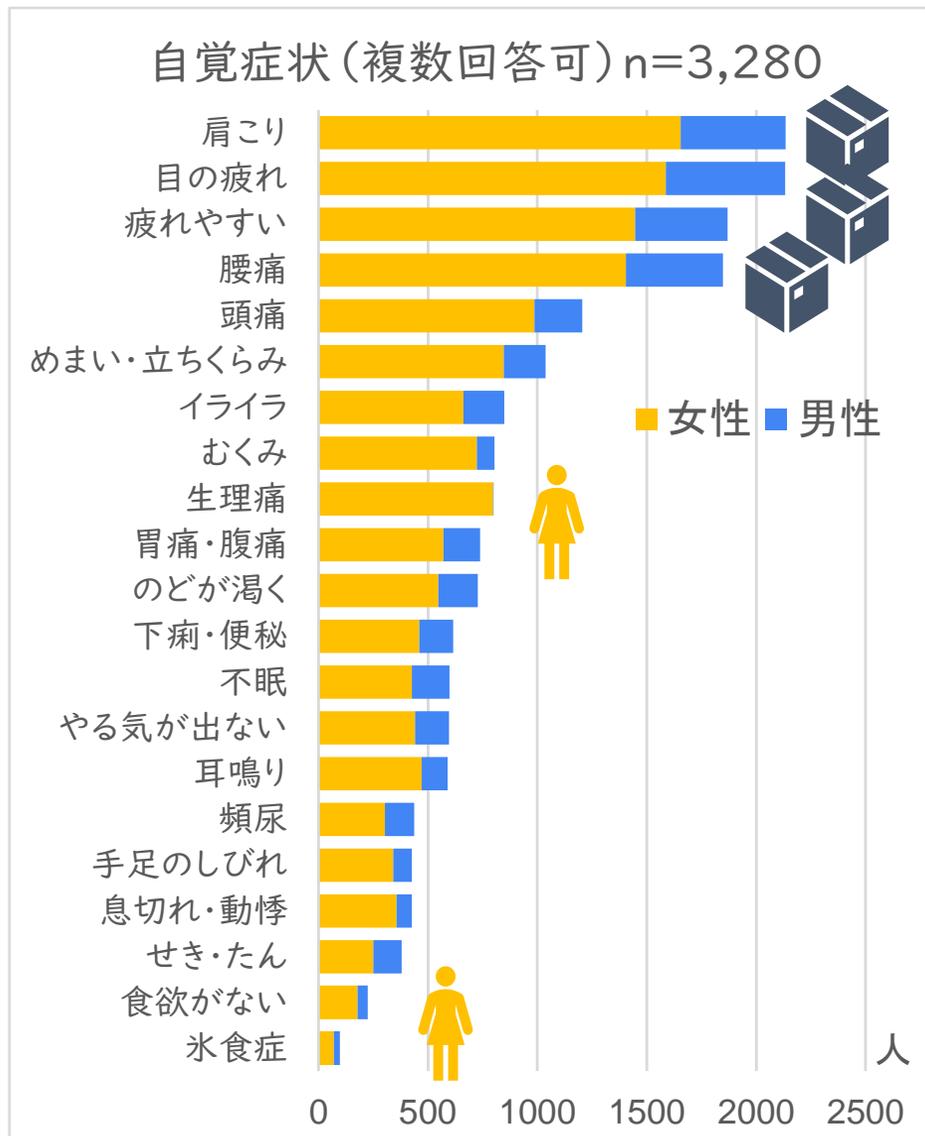
目標 15.0%

喫煙率低下中

準備期・関心期が全員禁煙すると
喫煙率 13.9%

禁煙意思のある者が挑戦しやすく
継続できるような環境を整えます

自覚症状



小売業であり重量物の取り扱いが多いことから

肩こり

目の疲れ

疲れやすい

腰痛 が上位にくる結果に。

労災予防としても腰痛対策は重点的に取り組んでいます。

女性の場合、疲れやすさは貧血の症状としても出現していることもあるため、女性の健康管理は健康重要課題として取り組んでいます。

目の疲れは視力低下が原因の一つです。今後も眼科の受診勧奨を継続していきます。

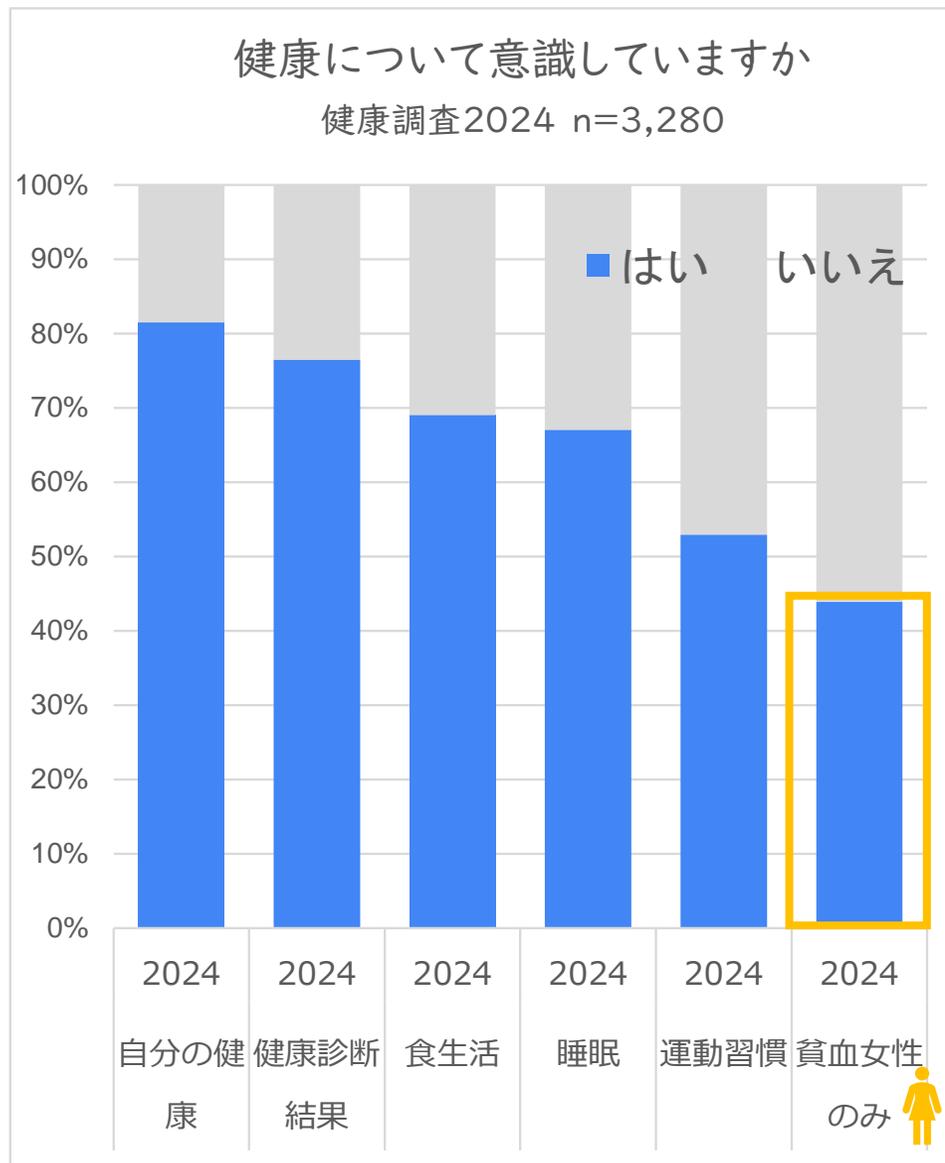


業務に特徴的なもの



女性特有の症状

データで見るサツドラ健康経営 ヘルスリテラシー



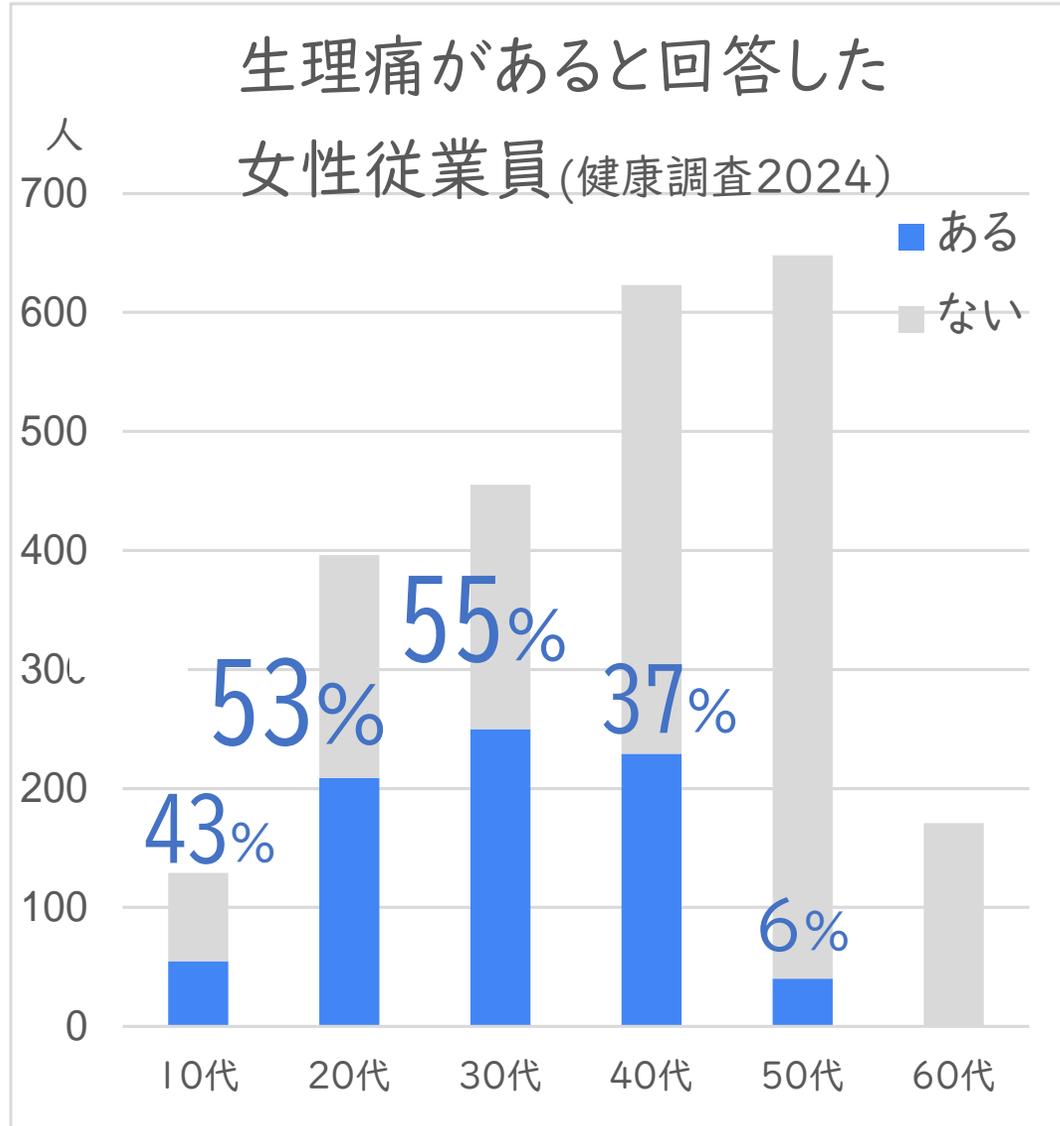
貧血を意識する女性 わずか**44%**

長年、貧血のまま放置
生産性低下・易疲労

リテラシー向上を目指す

- ・全従業員研修「女性の健康」実施
- ・貧血検査項目追加→保健指導強化

ヘルスリテラシー：月経

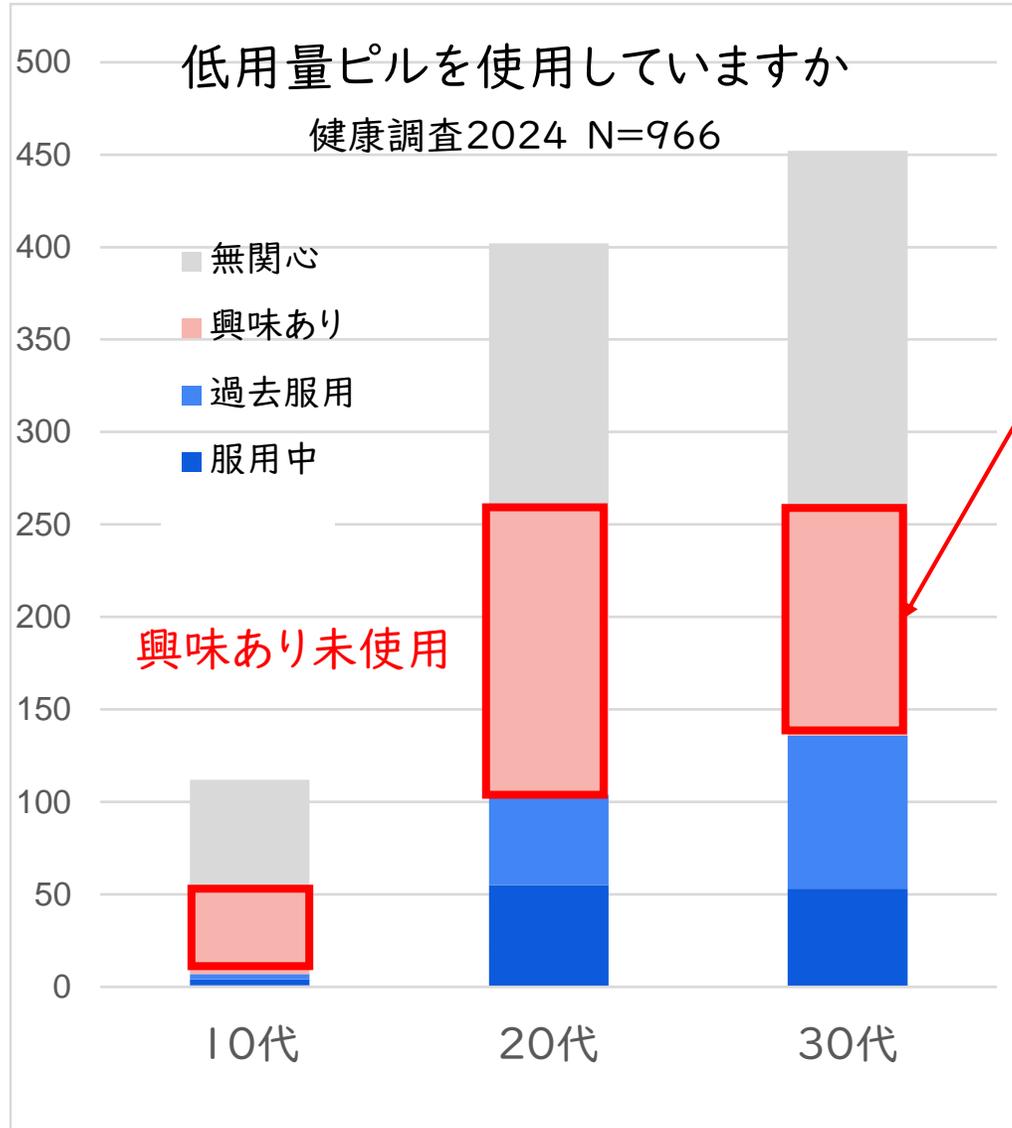


20-30代の**54%**が
生理痛あり→生産性に影響

女性自身が毎月の月経とのつきあい方の
リテラシーを高める必要あり

- ・全従業員研修「女性の健康」実施
- ・「低用量ピル」半額費用補助開始

ヘルスリテラシー：低用量ピル



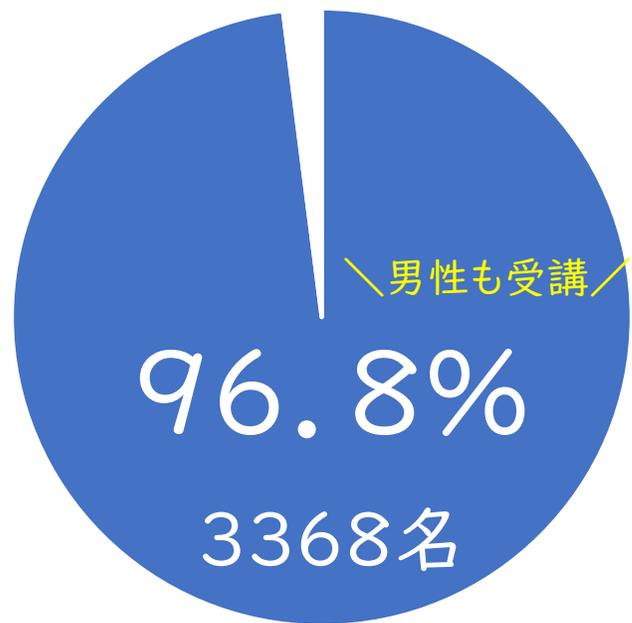
10-30代の3分の1が
興味あるが未使用

女性自身が毎月の月経とのつきあい方の
リテラシーを高める必要あり

- ・「低用量ピル」半額費用補助開始
- ・低用量ピル自体の知識啓発継続

ヘルスリテラシー：全従業員研修

研修「女性の健康」受講者
(PMS・更年期障害・貧血)



さらに
階層別研修も

新入社員	44人
新任店長・薬局長研修	18人

サツドラは女性が7割

女性の
生産性向上 = サツドラの
生産性向上

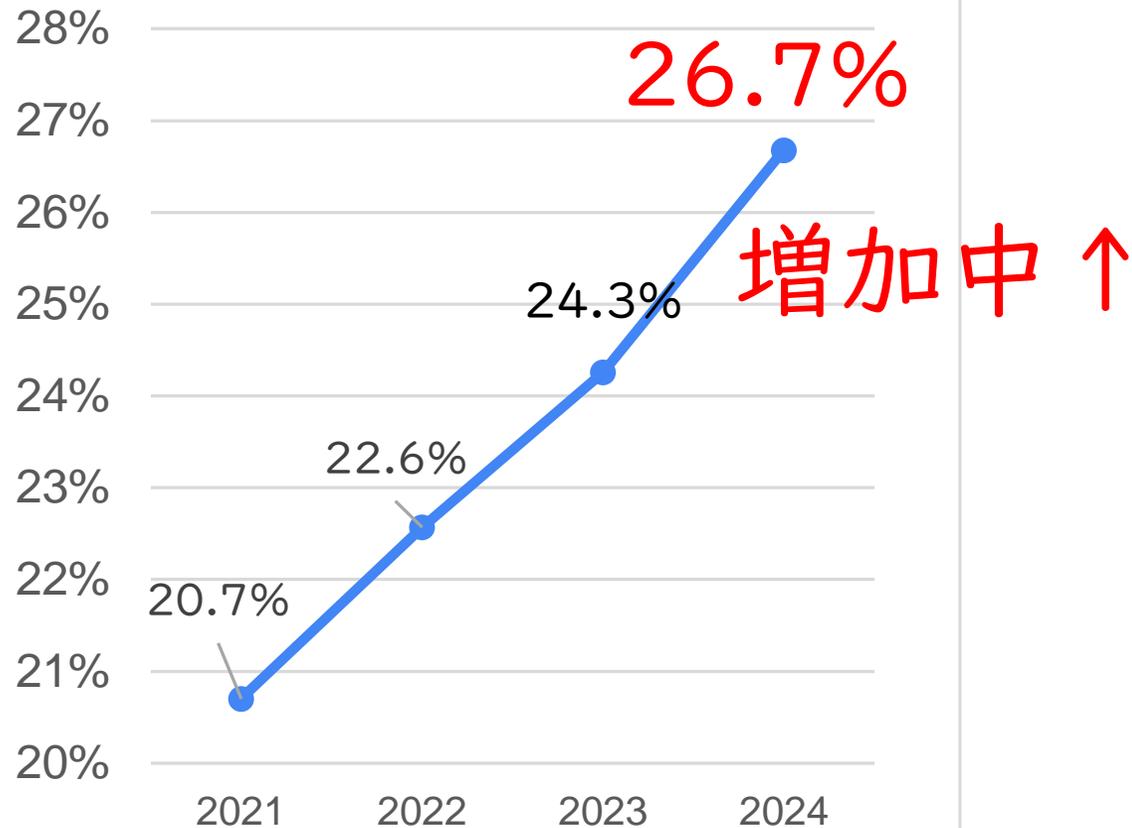
全従業員研修「女性の健康」実施

- ・女性の健康管理を最重要健康課題に設定
- ・男女問わず女性の健康について理解を深める場を提供

運動習慣

運動習慣がある

1回30分以上の軽く汗をかく運動を
週2日以上、1年以上実施



サツドラ健康重要課題

目標 2027年度 **30%**

運動習慣のある従業員

年々 増加中 ↑ ↑

きっかけづくり

- ラジオ体操第1 (毎朝・本社にて)
- ヨガ教室 (日中・夜)
- ウォーキングイベント (全社・年2回)
- 部活動への活動費補助 (24部活動)
- スポーツクラブ割引 (全国各地)

運動習慣：ウォーキングイベント

社内ウォーキングイベント
参加者数

延べ1,447名!

全従業員を対象とした、このウォーキング大会の目的は

- ・従業員の運動習慣の定着
- ・コミュニケーションの活性化

年2回開催のイベントには2つのコースが設定され、
店舗・本社・グループ会社問わず

1日3,000歩コース 延べ719名

1日8,000歩コース 延べ728名 参加

部署ごとのチームで歩数の順位を競って盛り上がりました。

参加者の声



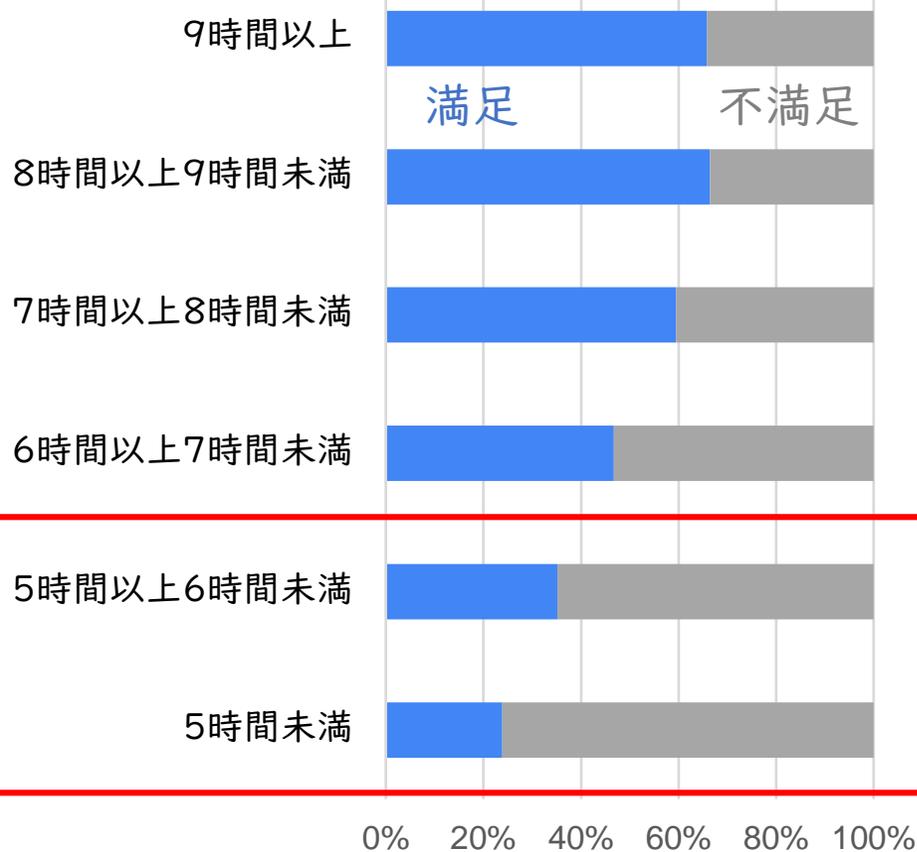
- ・自転車ではなく歩くことを意識しました
- ・こどものお迎えやスーパーの買い物も歩くようになりました
- ・休日でも歩くようになりました
- ・エスカレーターと階段があったら、階段にしています
- ・公共交通機関から徒歩に通勤手段を変えました



睡眠時間と睡眠の質

睡眠時間と睡眠の質の満足度

健康調査2024 N=3,280



従業員の約半数が不満
特に6時間未満は不満が多数



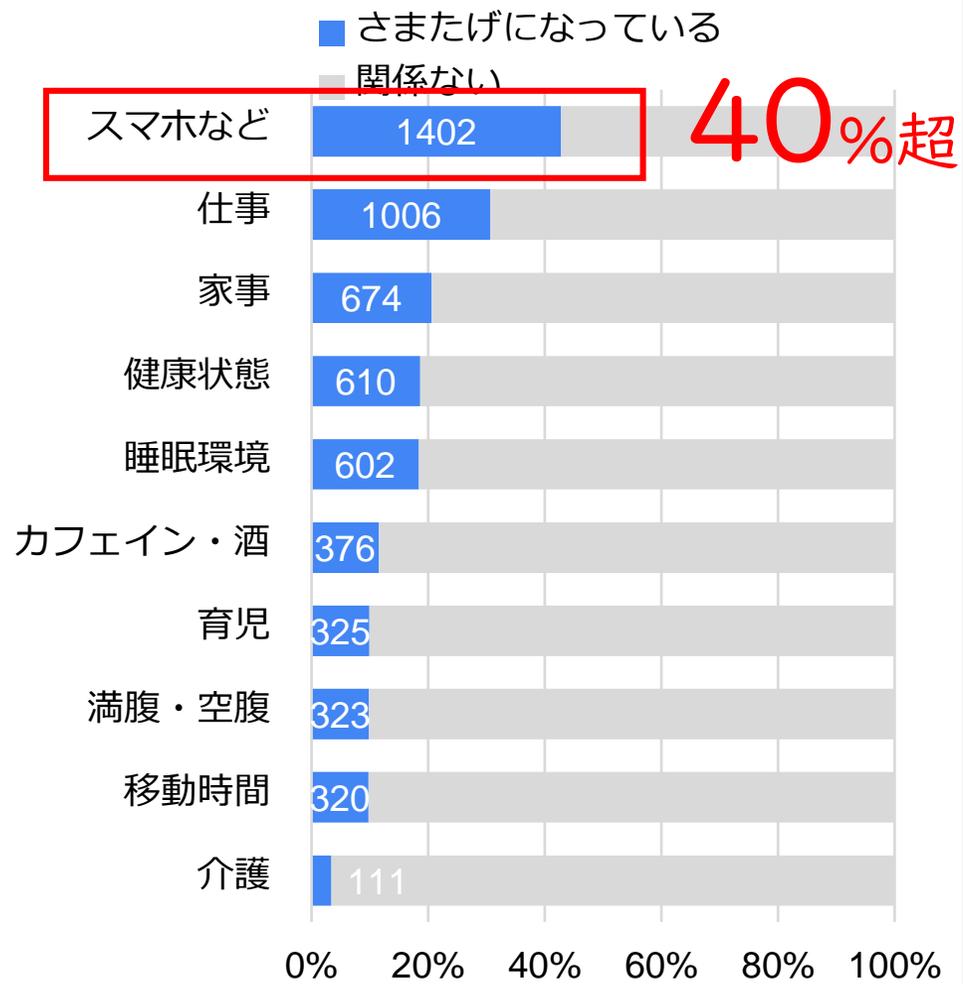
睡眠時間確保



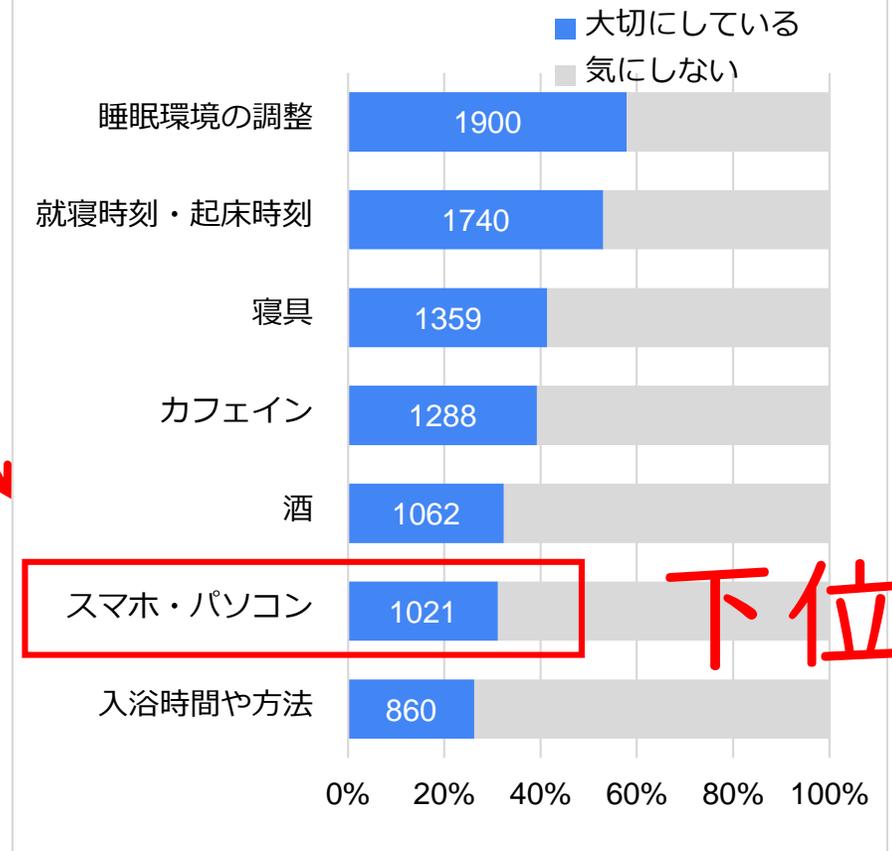
サツドラの生産性向上

睡眠のさまたげと質の向上

睡眠の妨げとなっていること

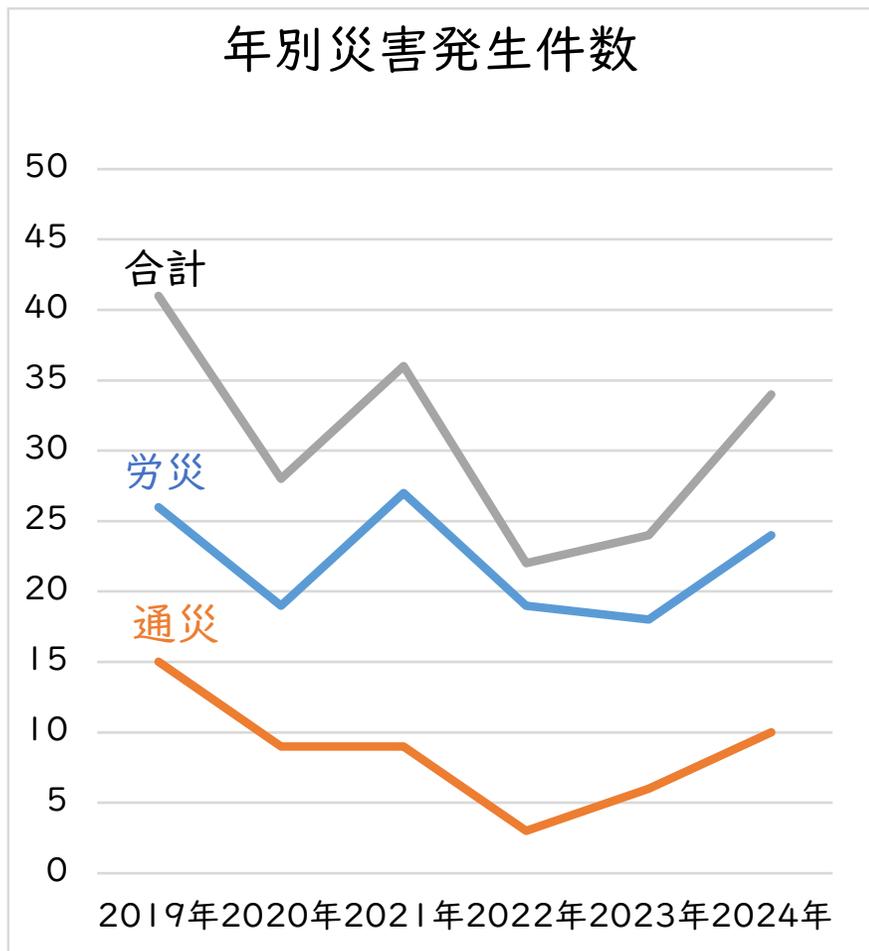


睡眠の質を高めるために



業務外の要因への対策が課題

労働災害発生状況



2019年度
労災発生状況の
集計と対策開始

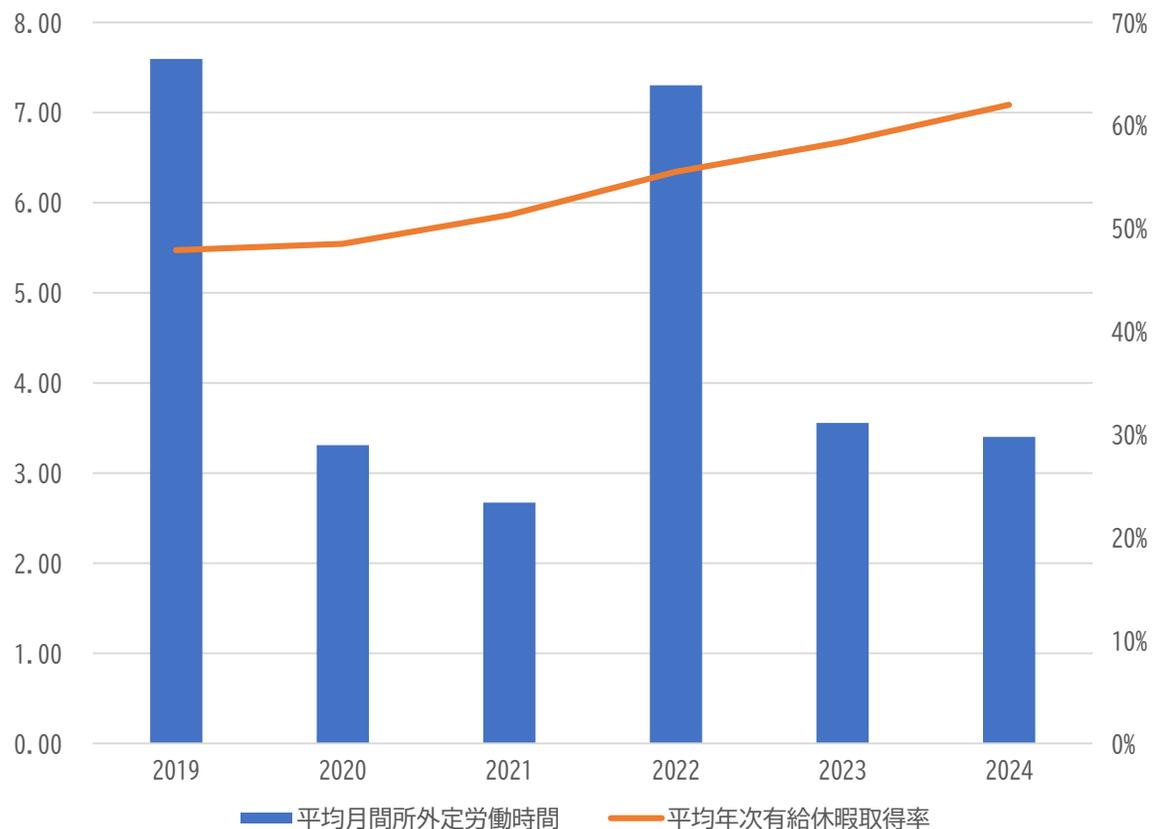


2024年度
通勤災害が
増加

- ・冬の凍結路面での転倒
降雪前に注意喚起するも、厳しい寒気の影響により凍結路面での転倒が増加
- ・毎月全従業員へ周知
労働災害の発生状況・原因・対策について
写真やイラストで視覚的にわかりやすく工夫

データで見るサツドラ健康経営 正社員の働き方

正社員の残業時間と年休取得率



正社員の働き方
2019~2024年度

2024年度は

平均所定外労働時間 **3.4時間**

平均年次有給取得率 **62.8%**

正社員の平均月間所定労働時間（残業時間）は2019年は新型コロナウイルスによる休職者が相次ぎ、出勤者がサポートに入ったため残業時間が増加しています。

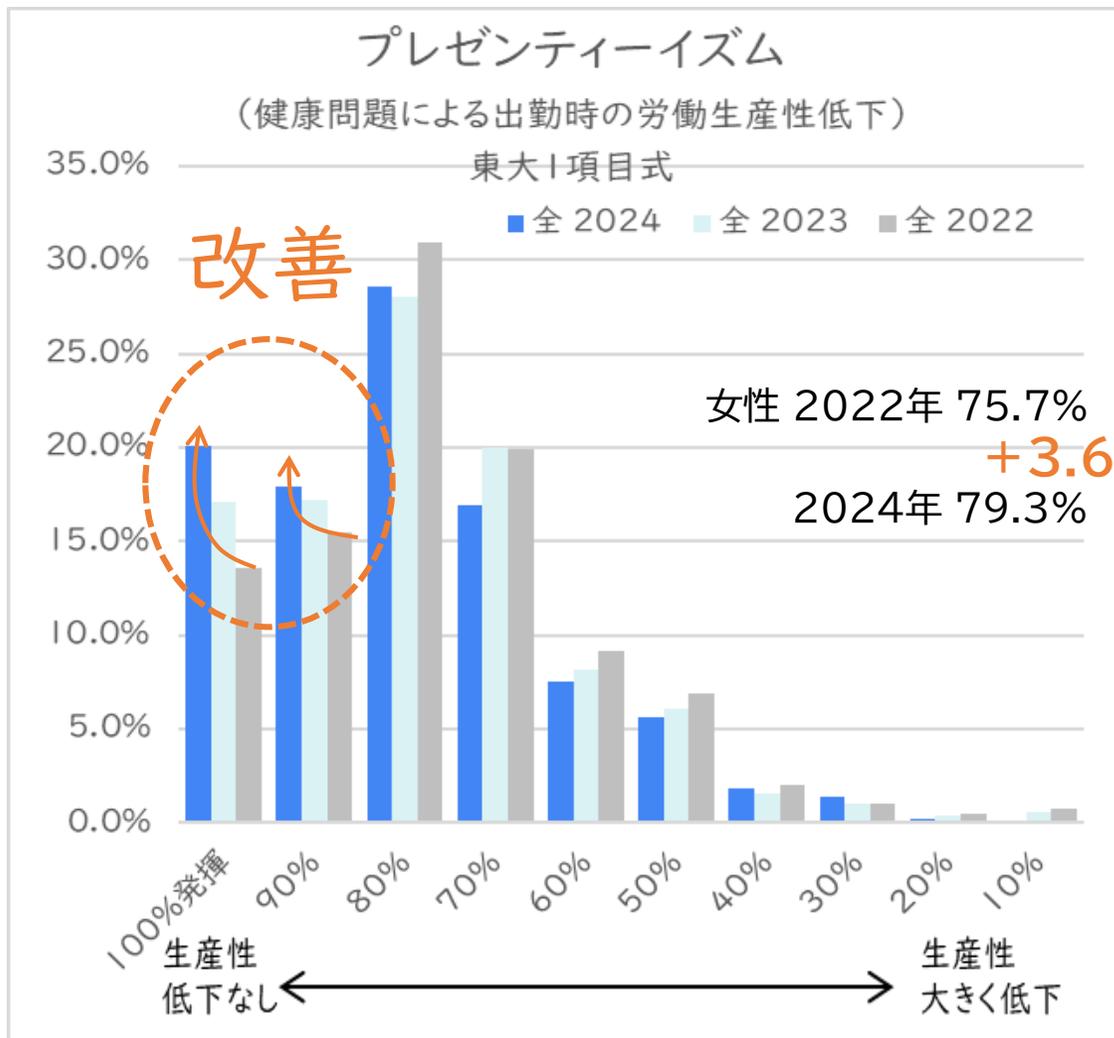
2020年、2021年は減少傾向にあったものの、2022年は新店オープンが相次いだことと、長期の休職者のフォローのために残業時間が増加しています。

2023年、2024年は残業時間が大幅に減っています。年次有給休暇取得率は増加しており、ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方が根付いてきたことが伺えます。

データで見るサツドラ健康経営 プレゼンティーイズム

SPQ 東大I項目版

(出勤はしているものの健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況)

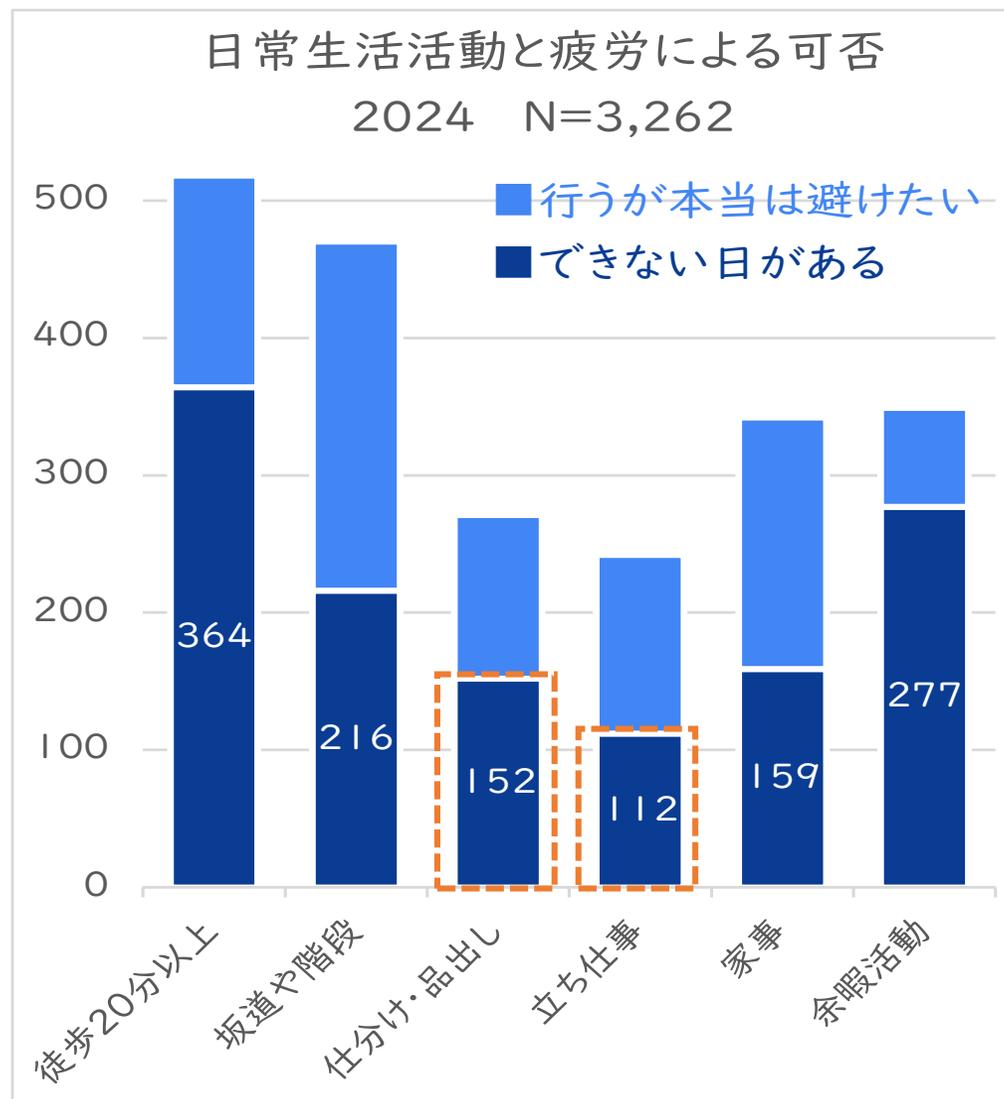


高い労働生産性を発揮できる
従業員の割合が年々増加!
特に女性が改善!

健康経営を推進することによって最終的な健康目標であるプレゼンティーイズムの低減につながっていることがわかります。
特に、重要課題の1つとして女性の健康管理に取り組んできた成果としてパフォーマンスが向上していることが考えられます

データで見るサツドラ健康経営 プレゼンテーションイズム

直近一か月間における日常生活活動の可否



仕分け・品出し・立ち仕事

できない日がある従業員

3-4%

疲労回復支援

女性の貧血対策
有給休暇取得率向上

体力向上支援

運動習慣づくり

データで見るサツドラ健康経営

アブセンティーズム

病欠により労働力を損失した日数

平均4.38日/人

(有効回答者3,280人の平均・自己申告・2024)

休職者数 191人

(病気やけがで7日以上お休みした者)

総休職日数 6,806日

(18年8か月)

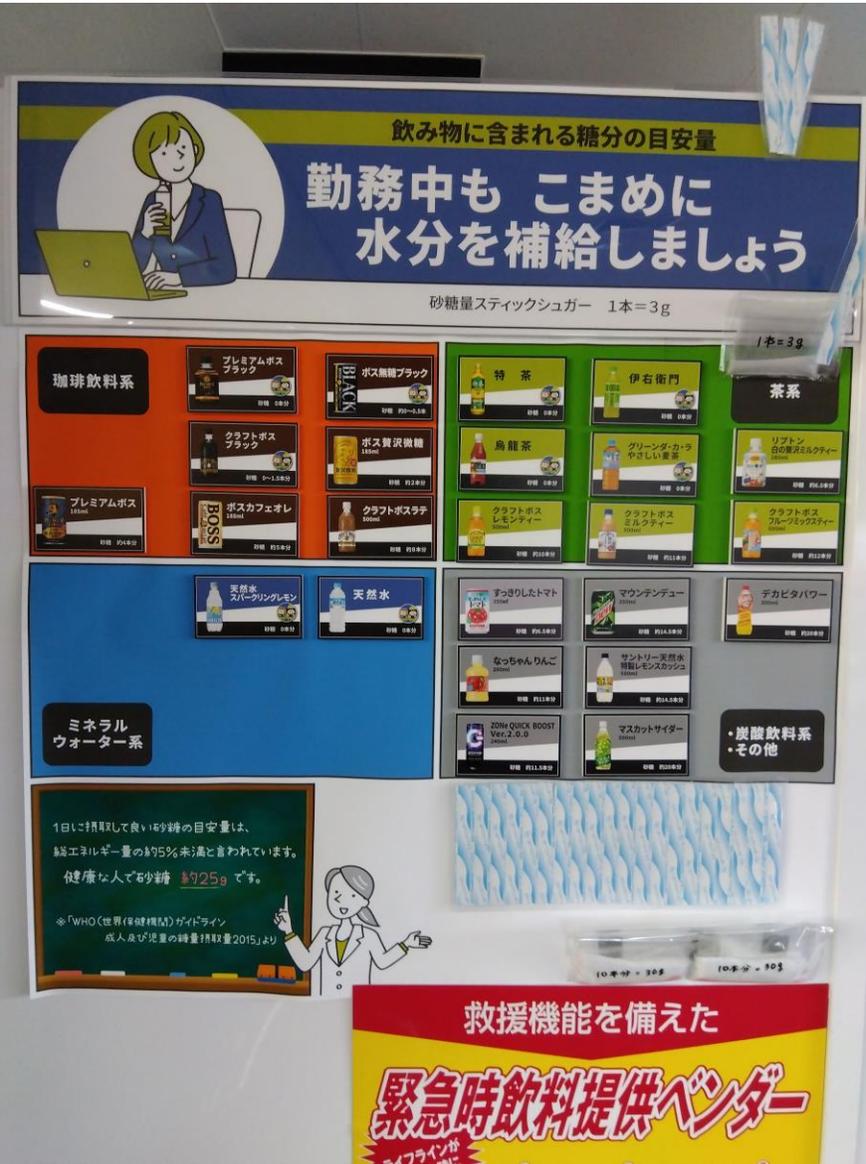


- ・けが予防の啓発活動
- ・婦人科がん検診のさらなる受診率向上
- ・勤怠不良者への迅速な支援

がん・メンタル不調の
早期発見・早期治療
けが予防

ヘルスリテラシー向上のための取り組み

自動販売機の飲料の糖分量を表示



社内広報でも産業保健スタッフが栄養成分表示について解説しています。

普段利用する休憩スペースに設置してある自動販売機の飲み物の糖分量を表示。
飲んだ飲み物の成分表示を見る習慣をつけることで、「砂糖が多く含まれている可能性がある」という意識を持つきっかけ作りをしています。

サツドラにおけるWell-being | 運動機会の創出

ヨガ



運動習慣の定着と肩こり・腰痛予防対策のため2022年6月より月1回ヨガ教室を開催。アーカイブ配信にも対応して、いつでも・どこでも視聴してヨガができる環境を整えています。
また、週末の疲れを癒すためのYOGA NIGHTも開催。



椅子



社内にバランスボールを各所に設置。必要時利用して体幹を鍛えることもできます。

ラジオ体操



運動習慣の定着のために本社で毎日9:30にラジオ体操第1を実施。約400もの筋肉を使うラジオ体操第1を行うことで、肩こり・腰痛予防対策に取り組んでいます。

立位



立って会議をするスペースもあります。座ったままよりもアイデアが浮かんできます。

サツドラにおけるWell-being | 運動機会の創出



Sport in Life



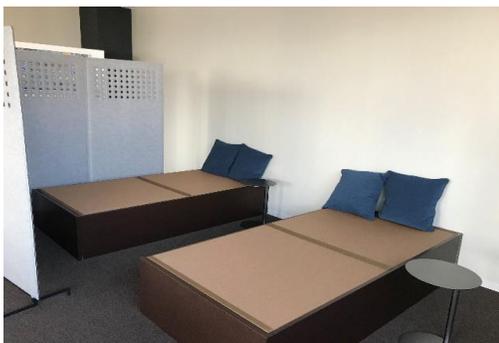
従業員向けの各取り組みが評価され、
従業員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業として
スポーツエールカンパニーに認定されました。

ウォーキング大会
本社における毎朝のラジオ体操の実施
ヨガ教室の開催（昼の部・夜の部）
部活動の活動費補助

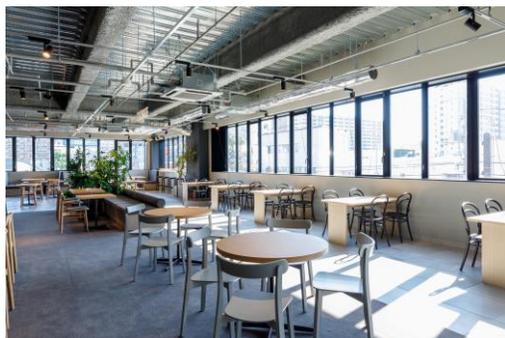


24部活動
が活動中

サツドラにおけるWell-being 快適な職場環境



生産性の低下予防のために休憩スペースを設置し、リフレッシュできるようにしています



フリーアドレスなので、好きな場所で業務が出来ます。もちろん、好きな場所で休憩もとれます。



本社内にブックラウンジがあり、約3000冊の本を自由に閲覧できます。従業員への貸し出しも無料で行っています。ブックラウンジはシェアスペースにもなっているため、他企業の方との情報交換の場にもなっています。

サツドラにおけるWell-being 女性の快適職場

smaluna for Biz 低用量ピル オンライン処方
従業員半額費用補助制度

オンラインで、低用量ピルの相談・診察・処方まで。

スマルナの特徴

point 01 夜でも土日でも好きな時間に自分のペースで受診

point 02 移動時間なし、いつでもオンラインで受診

point 03 医師による診察・処方です。安心して効果を実感

point 04 プライバシーを守りながらお薬が自宅に届く

まずは招待メールからご登録を

毎月のピル代 約3,000円→1,500円程度になり大変お得です



オンラインピル処方アプリのスマルナを導入し、費用の半額を補助しています。18~39歳の女性従業員は雇用区分関係なく利用できます。広い北海道で近くに婦人科のない地域でも専門医の診察を受け、継続して服薬することが可能となります。サツドラの7割を占める女性従業員の体調改善により、作業効率や集中力などパフォーマンス向上を目指しています。



本社トイレに「ひめごとBOX」を設置し、生理用ナプキンの持ち運びなどの心理的負担をなくしています。

SATUDORA HOLDINGS

女性社員の活躍を支える
「短時間勤務制度」
~ サツドラジョブスタイルの制度を紹介 ~



2024年4月からは育児短時間勤務の方がより安心して働くことができることを目的に、育児時短勤務が可能な期間を【12歳(小学校6年生)】までと拡大し、支援の幅が広がりました。また、時短勤務店長が働きやすいようにフォロー体制を整えています。

サツドラにおけるWell-being | 従業員の感謝をつなぐ



日頃の感謝を届けるありがとうメッセージを部門ごとに紹介。
日頃の業務の中のちょっとした場面や大事な場面で助けてくれる仲間へありがとうを送っています。
チーム内のモチベーションや心理的安全性を高めます。

サツドラにおけるWell-being

障がい者活躍 (DE&I)

障がいを持っている方がやりがいをもって働けるようにサポートをしています。

入社時には、本人だけではなく、高等支援学校の先生、就労移行支援事業所の支援員、家族、自治体の保健師、サツドラの保健師、採用担当者など関係者でケア会議を開催。

障がい特性に合わせた配慮や、サツドラの働き方について一緒に考えていきます。

一緒に働く従業員が配慮事項を理解しサポートすることで障がい者の方が働きやすい環境を整えています。

登録販売者の資格取得についてもサポートを行っています。
社内広報にも資格取得までの様子を掲載しています。

私は身体障がいがあり、みなさんと同じように品出しなどの作業をすることが難しいです。登録販売者の資格をとることは自分が会社や社会に貢献できる一つの方法だと感じ、受験しました！



村瀬さん



女性活躍 (DE&I)



女性活躍推進へ、「えるぼし」を取得
女性が活躍する機会が多いドラッグストア。
サツドラでは、女性活躍推進に関する取組みが優良な企業に対して与えられる、厚生労働大臣認定の「えるぼし」最高位である3段階目の認定マークを取得しました。今後も女性が活躍できる雇用環境の整備に努めてまいります。



次世代育成支援対策推進法に基づき行動計画を策定した企業のうち、行動計画に定めた目標を達成し、一定の要件を満たした企業が認定される「くるみん認定」を、2021年6月25日に受けました。

サツドラにおけるWell-being | 全員活躍 (DE&I)



D&I AWARD 2023にて「ベストワークプレイス」認定
株式会社JobRainbowが主催する「D&I AWARD 2023」において、
「ベストワークプレイス」認定を取得いたしました。

札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業認証書 ステップ3 先進取組企業



株式会社サッポロドラッグストア
代表取締役社長 雷山 浩樹 様

貴社は、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）及び女性の活躍を実現するため、さまざまな取組を推進し、法の規定を上回る制度を策定しましたので「先進取組企業」として認証します。

認 証 番 号 札幌市WLBonus企業第92号
認 証 年 月 日 平成30年 8月 2日

札幌市長 秋元克広

札幌市が「仕事と子育ての両立」を支援するため、2008年からワーク・ライフ・バランス推進事業を実施し、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を独自の基準で認証している「ワーク・ライフ・バランスplusステップ3」に認定されました。



ダイバーシティが叫ばれる近年、サツドラでも年齢や性別、国籍など関係なく
多様な人材が活躍しています。
2018年3月26日、札幌市からLGBTに関して取組みを推進していることを評価
され、星2つの登録をいただきました。
その後、取組項目数が増えて最高ランクの星3つに登録されました。

快適職場



がん検診の受診促進、がん患者に対する就労支援、たばこ対策の推進などの取り組みが認められ、グループ会社3社が「北海道がん対策サポート企業」に認定されました。



「北海道のきれいな空気の施設」「札幌市禁煙施設」に登録されました。サツドラでは健康増進法に基づく受動喫煙対策に積極的に取り組んでおり、全事業所を敷地内禁煙としています。



「苫小牧市空気もおいしい施設」「函館市きれいな空気の施設」に認定されました。適切な方法で受動喫煙防止対策に取り組み、従業員ならびに利用者全ての方を受動喫煙から守るとともに、市内事業所の模範となっていることが評価されました。

家族に安心を届ける

従業員の家族にも健康を。安心して働くことができるのは、家族が健康だからこそ。

- 健康診断を社員と同価格の特別金額で実施
- 家族からの相談対応
- 休職中および復帰後の従業員の家族の相談対応
- 特定保健指導の重要性の周知
- 協会けんぽ北海道のどさんこヘルスサポートサービスを積極的に周知



協会けんぽ北海道支部
加入者の皆さまへ

どさんこヘルス サポートサービス のご案内

「どさんこヘルスサポートサービス」って？

当支部の健康づくりに賛同いただいた企業さまが運営する健康関連施設等
を利用する際に、当支部の「健康事業所宣言書」を提示することで、
利用料金割引等の様々な特典サービスを受けることができます。

- 1 対象の施設を調べる。
- 2 対象の施設へ行く。
- 3 施設の窓口で宣言書の写し（画像でも可）を提示する。

「健康事業所宣言書」にご登録いただいている事業所さまにお勤めの方と
その扶養家族の方が、特典サービスを受けることができます！

協会けんぽ北海道支部では、加入者さま一人ひとりが自らの健康に対する意識を高め、健康の保持・増進に
努めていただくことを目的とした取組の一環として「どさんこヘルスサポートサービス」を実施しています。

サツドラにおけるWell-being

学生の皆さんと共に



商品開発やデータサイエンスにおいて学生に実践的な学びの場を提供しています。

従業員だけではなく、サツドラという企業を通して北海道の学生が活躍できるよう、支援しています。

地域に根差した企業として、地域の皆さんのWell-beingに貢献していきます。

これからもサツドラグループは
社員一人ひとりが、
ヘルスリテラシーを高め
人生をより良く過ごしていけるよう
取り組んでいきます。

